

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第1四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	88.4	86.7(R5)	△2.4
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	115	(4-6月) 27	+9
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△57	(4-6月) △21	△30
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.6	11.1(R5)	△0.5
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	398	342	+5
	③センター新規相談者数	人	21	28	4	+2
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	±0
政策4	①EV等保有台数	台	49	89	101(R5)	+21
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	41	±0
	環境保全実施面積	%	75	80.0	81.0	±0
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	360	434(R5)	△10
	リサイクル率	%	28	33.0	27.4(R5)	+0.5
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	3	3	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	53	31	△34
	交通事故発生件数（人身）	件	17	17	10	△1
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①子育て応援手当支給：681世帯 831人（77%）。若者定住奨励金申請：9件、家賃補助申請：2件。婚活イベント委託：1組のカップル成立。ましこココハウス事業として親子ヨガ、乳幼児リトミックの実施。施設利用者：2,008名。</p> <p>②お試し住宅利用：3件、移住相談：71件 オーダーメイドツアー利用：1件 空き家バンク：登録9件・成約5件</p> <p>2 ①健診受診者：599名、健康デー：136名、個別栄養、運動相談：17名。</p> <p>3 ①民生委員・民生児童委員と町長との懇談会を実施した。</p> <p>②いきいきクラブ連合会（16団体）への補助や真岡線相互利用の実施。サロン（9団体）への補助や活動内容の相談・調整を行った。</p> <p>③障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。</p> <p>④後見人制度の案内、生活保護制度の説明、自立相談などを行った。</p> <p>4 ①太陽光発電、蓄電池充電設置、V2Hの補助を開始。県地域脱炭素化支援事業のキックオフミーティングにおいてヒアリングを受ける。</p> <p>②多面的機能支払交付金組織、環境保全活動への指導・助言の実施。</p> <p>③生ごみ処理事業：家庭系42t（全77t）草の堆肥化事業、エコ土曜日、廃油回収等の実施。</p> <p>5 ②防犯パトロールの実施、スクールガードの活動 交通安全教室：30回 2,528人 防犯灯設置：3基（蛍光灯→LED） 特殊詐欺対策電話機購入：11件 免許返納：11人</p>	<p>1 ①子育て応援手当の申請77%と順調。未申請者には9月に再通知を行う。家賃補助については今後の申請状況によっては不動産業者等への再周知を検討する。また、県主催の婚活イベントについて結婚相談員にPRを7月の会議でお願いする。</p> <p>②お試し住宅、オーダーメイドツアーとも年度当初より利用があり好調、引き続き周知を図る。移住相談件数は同期比較で増加傾向にあり、陶器市でもブースを設置し相談を受け付けた。アンケートも実施したので結果を移住促進事業に活かしていきたい。空き家バンクでは、外観により登録見込みがあると判断した物件所有者への意向調査、登録案内に努めたい。</p> <p>2 ①運動や栄養を学ぶ機会を充実させ健康意識を高めていく。</p> <p>3 ①地域福祉計画を進める中で、地域ぐるみの生活支援事業について検討していく。</p> <p>②社会福祉協議会等と連携し、高齢者サロンやいきいきクラブ、シルバー人材センターの活動の支援を継続していく。</p> <p>③自立支援協議会主催の研修に積極的に参加する。</p> <p>④総合窓口の設置について、受付・対応体制及び環境整備等について検討し、開設に向け準備を進める。</p> <p>4 ①県地域脱炭素化支援事業のなかで、電気自動車充電設備設置手法の検討もしていきたい。</p> <p>②令和6年度の事業計画・予算を確認し国県への補助要望を実施。今後は効果的な活動のためのサポートを実施していく。</p> <p>5 ②犯罪や交通事故発生の抑制のため、青色防犯パトロールと交通安全教室を継続実施する。また、スクールガードの新規登録者を確保する。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	88.4	86.7 (R5)	△2.4
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	115	(4-9月)52	+12
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△57	(4-9月)△41	△31
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.6	11.1 (R5)	△0.5
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	398	325	△18
	③センター新規相談者数	人	21	28	7	△5
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	±0
政策4	①EV等保有台数	台	49	110	101 (R5)	+21
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	41	±0
	環境保全実施面積	%	75	80.0	81.0	±0
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	360	434 (R5)	△10
	リサイクル率	%	28	33.0	27.4 (R5)	+0.5
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	3	3	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	53	55	△41
	交通事故発生件数（人身）	件	17	17	14	△2
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①結婚相談員情報交換・講習会の実施。 子育て応援手当支給：879世帯(99%)。 ましこココハウス利用者：4,697名(内自習室171名)。ファミサポ：提供会員6名、利用会員35名、利用回数30回。若者定住奨励金申請：15件、家賃補助申請：9件。 ②お試し住宅利用：4件。窓口移住相談：88件、イベント相談：26件。オーダーメイドツアー利用：4件。空き家バンク：登録15件、成約7件。</p> <p>2 ①健診受診者：1,703名。結果説明：956名。健康デー：283名、個別栄養、運動相談：28名。</p> <p>3 ①地域協議会(星の宮地区)との意見交換を実施。 ②サロンへの補助や活動内容の相談・調整を行った。カフェおれんじ(認知症カフェ)の設置。 ④相談窓口設置検討会議において、担当、相談室等についての話し合いを実施。</p> <p>4 ①県地域脱炭素化支援事業において、脱炭素化、及びEV車・インフラ整備の推進について打合せの実施。 ②環境保全活動へのサポートや多面的機能支払交付金組織座談会、水土里ネット生き物調査を実施。また、花のまちづくりとして、ひまわり祭りを開催し、来場者は27,000名であった。期間中、来場者アンケートも実施した。 ③生ごみ処理事業：家庭系95t(全164t)。草の堆肥化、エコ土曜日、廃油回収等の継続実施。</p> <p>5 ①地区防災計画策定目標値は達成しているが、新規策定自治会の検討を継続する。 ②防犯パトロールの実施、スクールガードの活動 交通安全教室：50回 3,165人 特殊詐欺対策電話機購入23件 免許返納：17人</p>	<p>1 ①婚活イベントについては、参加しやすさに配慮し「友活」スタイルとして実施。県の子育て支援員研修の周知を図り、ファミサポ提供会員の確保に繋げる。 ②お試し住宅利用者がオーダーメイドツアー利用に繋がるケースもあるため引き続き利用促進に努める。空き家バンクは、昨年度末実施した空き家調査(自治会長宛て依頼)に基づき現地調査を実施。調査内容を精査し、登録勧奨に努めたい。</p> <p>2 ①運動や栄養を学ぶ機会を充実させ、健康デーではテーマを設け健康意識を高めていく。</p> <p>3 ①協議会での意見についての支援のため、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会等との情報を共有していく。 ②認知症カフェに引き続き新たなサロン設置に向け支援を継続。今後、全12カ所となる予定。</p> <p>4 ①今後、月1回の打合せにより、施策案を具体化していく。 ②座談会において、地域課題(人員不足、非農家の巻き込み等)を再認識できた。多面的機能支払交付金事業のPRによる町内参加人材の発掘が必要。ひまわり祭りのアンケート分析により、町内への回遊誘導が今後の課題である。 ③家庭系の生ごみ増に向けてごみカレンダーの修正、併せて生ごみ堆肥化の機運醸成を図るためのPRが必要。エコ土曜日は安全性に配慮したレイアウトの見直しを検討していく。</p> <p>5 ②犯罪や交通事故発生の抑制のため、青色防犯パトロールと交通安全教室を継続実施する。今後、各学校に危険個所の提出を依頼し、通学路安全対策協議会で意見を聴き、安全確保に努めたい。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	88.4	86.7 (R5)	△2.4
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	115	(4-12月)67	+8
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△57	(4-12月)△26	△34
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.6	11.1 (R5)	△0.5
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	398	333	△7
	③センター新規相談者数	人	21	28	7	△7
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	±0
政策4	①EV等保有台数	台	49	89	101 (R5)	+21
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	41	±0
	環境保全実施面積	%	75	80.0	81.0	±0
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	360	434 (R5)	△10
	リサイクル率	%	28	33.0	27.4 (R5)	+0.5
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	3	3	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	53	80	△59
	交通事故発生件数（人身）	件	17	17	22	△3
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	1	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①「友活」スタイルの婚活イベントを実施し、フレンド成立6組、内本交際へ1組が発展した。子育て応援手当支給：880世帯(99.3%)。ましココハウス利用者：6,897名(内自習室263名)。ファミサポ：提供会員6名、利用会員35名、利用回数47回。若者定住奨励金申請：20件、家賃補助申請：10件、秋の陶器市・オールとちぎ移住フェア・JOIN 移住交流フェアで両制度の周知。</p> <p>②お試し住宅利用：5件。窓口移住相談：120件、イベント相談：61件。オーダーメイドツアー利用：5件。空き家バンク：登録17件、成約12件。空き家調査（自治会長依頼）の中で登録対象とした物件について申請案内：17件</p> <p>2 ①健診受診者：3,797名。結果説明：1,608名。健康デー：431名、個別栄養、運動相談：52名。</p> <p>3 ②サロンへの活動内容の相談・調整を行った。</p> <p>④相談窓口設置検討会議において、担当、相談室等についての話し合いを実施。</p> <p>4 ①県地域脱炭素化支援事業において、脱炭素化、及びEV車・インフラ整備の推進について打合せの実施。道の駅等で脱炭素化・地域活性化を11町が一体で取り組むにあたり、産官学連携で推進する“栃木県ゼロカーボン道の駅推進協議会”を設立した。</p> <p>②環境保全会の今後の活動内容の確認。</p> <p>③生ごみ処理事業：家庭系142t（全241t）、町民まつりで生ごみ堆肥化PR。草の堆肥化、エコ土曜日、廃油回収等の継続実施。社協とフードバンク事業を実施。</p> <p>5 ②交通安全教室：72回 4,704人、特殊詐欺対策電話機購入33件、免許返納：27人</p>	<p>1 ①婚活イベントを「友活」スタイルとすることにより、5月開催時より女性応募者を増やすことができた。次年度においても参加しやすさを考慮し実施していく。</p> <p>②オーダーメイドツアーについては地域おこし協力隊のエントリーに繋がったこともあり、引き続き利用促進に努める。また、ツアー訪問先の先輩移住者等については、更に移住促進事業に関わってもらえるよう連携していきたい。また、成人者を対象とした移住定住に関するアンケート内容を検討し二十歳のつどいの際実施予定。</p> <p>2 ①運動や栄養を学ぶ機会を充実させ、健康デーではテーマを設け健康意識を高めていく。</p> <p>3 ②7月に活動終了したサロンがあったが、2カ所のサロンを新たに開設できた。継続して活動できるよう支援をしていく。</p> <p>④福祉の相談窓口担当を、福祉子育て課福祉係とし、年度内に看板設置・周知広報を進めていく。R7年度当初からのスタートとなるので、相談を受ける体制や他窓口との連携のフローを検討していく。</p> <p>4 ①町女性団体会員等を対象に、EV試乗会を実施し、EV車普及を図っていく。また、“ゼロカーボン道の駅推進協議会”では、実務的な事業を進めるにあたり2分野の分科会を立ち上げていく。</p> <p>③編集し直したごみカレンダーにより、転入者への町の生ごみ堆肥化事業への理解、参加促進を図る。併せて町民の堆肥化への意識醸成の更なる強化に努める。</p> <p>5 ②犯罪や交通事故発生の抑制のため、青色防犯パトロールと交通安全教室を継続していく。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第4四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	88.4	85.3	△1.4
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	115	85	+3
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△57	△34	+27
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.6	11.8	+0.7
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	1	+1
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	398	333	△6
	③センター新規相談者数	人	21	28	19	△5
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	±0
政策4	①EV等保有台数	台	49	110	109	+8
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	44	+3
	環境保全実施面積	%	75	80.0	81.0	±0
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	360	440	+6
	リサイクル率	%	28	33.0	25.0	△2.4
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	3	3	±0
	②刑法犯発生件数	件	68	53	89	△56
	交通事故発生件数（人身）	件	17	17	23	△3
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	1	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①夜間結婚相談を実施したが相談者は1名に留まった。ましこコッコハウス利用者：9,239名（内自習室317名）。ファミサポ：利用回数47回。若者定住奨励金申請：24件、家賃補助申請：10件。</p> <p>②お試し住宅利用：6件。窓口移住相談：148件、イベント相談：62件。オーダーメイドツアー利用：5件。空き家バンク：登録23件、成約17件。「田舎暮らしの本 Web」で二拠点生活事例の紹介、「jobQ Town」では移住情報を紹介。また、二十歳のつどいで移住定住に関するアンケートを実施。町への移住の不安については「働く場所」「交通機関」に関するものが多かった。</p> <p>2 ①健診受診者：3,887名。結果説明：1,642名。健康デー：571名、個別栄養、運動相談：85名。</p> <p>3 ①生活支援コーディネーター、町社会福祉協議会と取組や課題について意見交換、星の宮地区生活支援整備協議体では移動支援の検討。</p> <p>②サロンへの活動内容の相談・調整を行った。</p> <p>④相談窓口設置検討会議において、総合窓口を4/1より設置とし、看板設置、周知広報、業務フローチャートを作成。</p> <p>4 ①町女性団体会員等を対象に試乗会を実施し、EV車の普及を図った。太陽光設置補助金申請件数は19件で前年比増。また、栃木県11町ゼロカーボン道の駅共同提案者として「脱炭素先行地域」へ応募。</p> <p>③生ごみ処理事業：家庭系170t（全304t）、草の堆肥化、エコ土曜日、廃油回収等の継続実施。資源物ステーション設置補助金の交付。</p> <p>5 ②交通安全教室：101回 6,615人、特殊詐欺対策電話機購入40件、免許返納：37人</p>	<p>1 ①結婚相談については、相談員さんの意向により相談回数を増やし3月に1回の開催とする。また、相談員同士の情報連携手段としてLINEの活用を検討する。</p> <p>②移住については、イベント出展を増やすことにより、移住相談件数が昨年実績を上回っている。引き続き、周知、及びサポートを継続していく。また、学校卒業後の定住を促すため奨学金返還支援を実施していく。</p> <p>2 ①健康づくりモチベーション維持のため、個別栄養相談や健康デーを実施している。各回ごとにテーマを設ける「健康イベント」も好評であり、今後も参加意欲を維持するためにも継続していく。</p> <p>3 ①星の宮地区でアンケートを実施し、地域の困りごと把握し、併せて移動支援の検討をする。</p> <p>②サロン運営にあたって不安事項である、身体状況に応じた関わり方・緊急時の対応について、専門職による研修会の実施を検討する。</p> <p>④今後の運用する中で、課題等があれば随時、関係課で協議し、連携を更に進める。</p> <p>4 ①EV車試乗会については、今後も実施の継続によるEV車普及を検討する。また、「脱炭素先行地域」の計画でも再エネを活用したEV充電設備の整備によりゼロカーボンドライブを促進していく。その際に設備仕様の統一も検討する。</p> <p>③全体的な生ごみ処理量が減少しているため、事業所への案内送付、町民向けにSNS等によるPRにより普及拡大を図っていく。</p> <p>5 ②スクルーガードの新規加入者確保のため、小学校入学説明会時のチラシ配布、町広報紙での募集、自治会での勧誘チラシ回覧により今後も周知活動を行っていく。</p>